

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1070400963		
法人名	ケアサブライシステムズ株式会社		
事業所名	グループホーム どんぐり		
所在地	伊勢崎市蕪塚町1193-9		
自己評価作成日	平成22年7月2日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigo-joho.pref.gunma.jp/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	サービス評価センターはあとらんど		
所在地	群馬県前橋市大渡町1-10-7 群馬県公社総合ビル5階		
訪問調査日	平成22年7月21日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者の利用期間が長い方が多く、ご家族様との信頼関係もできています。(医療的行為が難しいので特養の申し込みや生後は病院でという提案をしてもここまでよくしてもらったのでと言われることがほとんど)ここで最期をむかえさせたい。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

管理者の業務に対して真摯に取り組む姿勢と温厚な人柄で、職員との連携が円滑に図れ、利用者に対するサービスにも反映されている様子が実感された。運営推進会議の開催により地域との関わりが増して、災害時や利用者が行方不明になった時の対応等について活発な意見交換が行われ、自動災害通報装置に地域住民の方の登録も予定されている。運営に対しての家族等の意見・要望を反映させるために、家族等の都合に合わせて3ヶ月に1度面談日を設けて、サービスの提供に活かしている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスの役割を理解し地域との関連性を意識した事業所独自の理念を掲げ、毎日の申し送りやホーム会議、日々の利用者様との関わり等で理念を振り返り、確認しながら実践を取り組んでいる	地域との関わりを盛り込んだ事業所の理念を職員全員で確認し、月に1回の職員会議・毎日の申し送り・日々の対応等で理念を意識しながら話し合いを持ち、実践に向けて取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入しており回覧板等で情報を知り地域の行事(夏祭り、敬老会、ゴミ回収等)に参加したり公園など散歩時に声を掛けるなど近隣の人との付き合いを大切にしている。AEDの講習時には地域の人に声をかけて交流を持つ様になっている。	自治会に加入しており、敬老会や夏祭りなどの地域の行事に参加している。AEDの講習に地域の人の参加があったり、子供神輿の休憩所になる等、地域の人と触れ合う機会が多くなっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域運営推進会議の時に参加して頂いて地域の方に認知症の利用者様にどのようにホームとして関わりを持っているかという情報を流したり質問された事に対してアドバイスをしたりしています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的開催しており、事業所から利用者の状況や行事の報告等を行っている。参加者からの意見や要望を聴きサービスの向上に努めている。災害時の対応や施錠の件について意見交換が行われホームとしても検討課題として取り組んでいる。	運営推進会議は年に6回開催しているが、うち1回は行政関係者の参加が見られない。事業所からは利用者の状況や行事等の報告を行っている。自動火災通報装置に地域住民の登録の件や利用者が行方不明になった時の対応等について意見交換が行われている。	運営推進会議の意義を確認し、全ての運営推進会議に行政関係者が参加することが望まれる。又、出来るだけ多くのメンバーが参加するように働きかけをして欲しい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	法人の課長が報告や申請手続き等の代行の為、市の担当者を訪ね相談や助言を受けている。課長と管理者は常に話し合っ情報共有し、サービスの向上に反映させている。	法人の課長が認定更新手続き等で市の担当者を訪ねた際に、事業所や利用者の状況の報告や相談事を行っている。課長と管理者は密に情報を交換して、サービスの向上に反映させている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	「身体拘束排除マニュアル」の配布、ホーム会議、推進会議などで話し合う機会が多い内容でもある。玄関の施錠に関しても折に触れ検討している。	ホーム会議や運営推進会議で「身体拘束配布マニュアル」についての話し合いの機会を持っている。玄関の施錠についても検討しており、現在は午前中は施錠をしているが、午後は鍵をかけていない。	玄関の施錠も身体拘束に含まれることを再認識し、リスクに関して家族等と話し合いを持ちながら、鍵をかけずに利用者の自由な暮らしの支援が出来るよう更なる努力を期待したい。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ホーム会議や推進会議などで話し合いの場を設けている「高齢者虐待防止の基本」など資料を用い、検討し日々の業務に繋げている。話し合い学ぶ事により改めて認識できるよう努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	今までの利用者様の中で特に利用する方がいっしょになかったので勉強をする機会を持つことはなかった。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時の締結、解約の事は入所時書面にて説明している。また低調の低下などで今後医療的行為が発生する可能性が高い利用者様の御家族には面談時面会時に再説明を行っている。また契約書等の変更時は書面にて説明し、サイン・印を頂いている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置し重要事項説明書には苦情申し立ての窓口を明記している。御家族の来訪時には気軽に話ができる様な雰囲気作りを工夫している。特に3カ月に1回の家族面談日を大切に、意見交換をしながら御家族の意向等を引き出すようにしている。終末期の対応の質問等があり、ホームの方針を説明した。	重要事項説明書に苦情申し立て窓口を明記し、意見箱を設置している。家族等来訪時には気軽に話せる雰囲気作りをしている。家族等が意見や要望を管理者等に直接表せる機会として、家族等の都合に合わせて3ヶ月に1回、面談の日を設けている。「もっと散歩に出して欲しい」との要望や終末期に対する質問等があり、出来ることから実践している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ホーム会議時に職員の意見を聞く機会を設け、また年2回自己評価後のフィードバック時、本社担当者と管理者で意見を聞くようにして反映させる。	ホーム会議の時に職員の意見を聞くようにしている。年に2回、職員に自己評価をしてもらい、それに合わせて、本社担当者・管理者・職員の3者で話し合い、職員の意見を聞く機会を作っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回ボーナス査定時、自己評価を行ってもらい管理者と本社担当でそれぞれ再評価し、その後3者面談にて話し合いボーナス反映している。労働時間も職員の相談時はできる限り希望がかなうよう勤務表を作成している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内研修として月1回、職員が課題を見つけ、発表する機会を作っている。レベルアップ、認知症、口腔ケアの研修等の外部研修には段階的に参加するようにし研修内容については報告し全員が共有している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域密着型サービス連絡協議会に加入しており、グループホーム大会に参加。事例発表等を行って他のグループホームとの情報交換、交流を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	可能なかぎり入所前に利用していたサービス担当者様情報を得たり、入所前面談などを実施し入所前に予想される困りごとに対する対策をたてる。また入所後はコミュニケーションを多くするように心がけて本人様が訴えやすい環境を作り安心を確保できるようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前に利用していたケアマネージャー等により入所するきっかけになった原因等情報を流して頂き又、入所前面談時管理者やホームのケアマネージャーで話を聞くよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	緊急性のあるものか見極め対応しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入所前の生活状況や現在何が出来るレベルであるか、何をしたいかを十分判断し(家事等が好きなど)ケアプランに反映させ日常生活に組み込んでいく。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	遠方にお住まいの御家族様とは多面的な通信手段を用いて御家族の絆が途切れないよう努めています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	御友人が面会に来訪されたときにはくつろいで頂ける空間を提供出来るよう努めています。	友人が面会に来訪されたり、お墓参りや馴染みのスーパーに出かけることもある。携帯電話を所持している方は家族等と電話で交流をしたり、手紙でこれまでの関係を継続している方もおられる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	無口な利用者様同士の場合は話題を提供しコミュニケーションが計れるよう努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用者様から求められればお答えしています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人の意思の確認が困難な場合は本人本位に検討しています。	管理者や職員に利用者が直接気持ちを伝えることもあるが、多くの場合、日々の生活の中での会話から一人ひとりの思いを汲みとるように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者様との会話の中や御家族様から伺ったお話により情報の把握に努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	申し送りの充実により現状の把握に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	運営推進会議や家族面談を通して集まった意見を反映できる介護計画を作成している。	ケアマネジャーが本人・家族・職員(担当制)等の意見を基に仮の介護計画を作り、カンファレンスで話し合い、最終的な計画を作成している。月1回のモニタリングと3ヶ月に1回の見直しを行い、状態に変化が見られた場合は随時見直しを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の申し送りや職員会議での意見を活かせるよう努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	全てのニーズに答える事は夜間や日中により職員数が限られる為、困難だが柔軟な対応が出来るよう努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域と共存して、その人らしく生活できるよう支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月に2回、かかりつけ医が訪問診察を行っている。	本人や家族の希望するかかりつけ医となっている。現在は利用者全員がかかりつけ医として協力医の診察を受けており、協力医は月に2回訪問診療を行っている。受診の結果については家族来訪時に報告しているが、体調に変化のある場合はその都度電話で知らせている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週に1回、訪看による健康チェックを行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	定期的に情報交換をしている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ホームではここまで来ますと御家族や地域の方々に定期的に説明している。	事業所としての「重度化対応、終末期ケア対応指針」を作成しており、重要事項説明書に記載し、入居時に家族等に説明している。状況の変化を見ながらその都度、専門職・職員・家族等と連携を図り、入居者が満足する看取りの支援をしたいと考えている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故発生時の対応についてはホーム会議で最善策を話し合っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域の方々と避難訓練を行っている。	年に2回、消防署の協力を得て、昼夜を想定した避難訓練を地域や家族等にも連絡をして行っている。運営推進会議においても災害対策は話し合われており、自動火災通報装置の通報先に近隣の方も加える予定となっている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様をひとりの人間として尊敬して声掛けや対応に失礼がないか細心の注意を払っている。	利用者一人ひとりの気持ちを大切に考え、プライバシーを損ねるような対応、特に言葉かけについての配慮を行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人が気持ちよく自己決定ができるように声掛けや誘導を職員全員で常に工夫している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切に寄り添うケアを実践している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人が着たい服、したい髪型を最優先している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食べ終わった食器をはじに寄せたり、重ねたりとご本人が出来ることをして頂いている。	利用者のレベル低下により出来ることは少なくなったが、テーブル拭き・下膳の手伝い・食器拭き等を職員と一緒にやっている。利用者と職員は同じテーブルを囲み、楽しい雰囲気の中で食事を摂っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	各利用者様の好み、食事量、水分量を職員全員が把握している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯ブラシを使用できない利用者様には自尊心を傷つけないよう職員が対応している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	ほとんどの利用者様を介助にてトイレでの排泄を行っている。訴えない方は定期的なトイレ対応を行っている。	排泄パターンを把握して、声かけをしながらトイレで排泄するように努めている。オムツの使用数が減ってきたとの結果が見られている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維を多く含んだ食材の提供また毎日の牛乳にオリゴ糖を入れるなどの工夫を行っている。午前中は体操をするなど体を動かすようにし自然に継るように努めている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	毎日を入浴日と決め利用者様に声掛けを行ったが利用者様の希望がなかった。そこで週2回の入浴を年間を通して週3回とし対応することにした。	利用者へ声かけをし、希望に合わせての入浴を試みたが希望がなかったため、それまで週に2回の入浴日を週に3回として、午後、入浴支援を行っている。	入浴については利用者それぞれにこれまでの習慣や希望に多様性があることを踏まえ、個別性を大事に考え曜日や時間を決めず、希望する時にいつでも入浴を楽しめるよう再度挑戦して欲しい。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	臨機応変に、対応している。その日の体調や気分をくみ取り居室での対応も行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	申し送りを通して職員全員が把握している。2カ月交代で職員が必ず薬の担当を持つ様にし責任をもって管理する様にしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	心がけている。最低でも1日1回、レクの時間を設けている。なるべく参加して頂けるように声をかけている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ホーム内で季節毎に計画を立て外出し四季折々を戸外で楽しんで頂けるよう努めている。	散歩・ドライブ・近くの公園や季節の花の見学等に出かける機会を作り、戸外で楽しむ時間を多く持つようにしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の管理は徹底して、気をつけている。一人での対応を行わず、必ず2人で対応している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	そうできるように支援している。年賀状は毎年出して頂いている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	職員は心がけている。居間やたたみを利用しご本人の過ごしやすい場所で過ごして頂いている。	共用空間には観葉植物・絵画・テレビ・置物・利用者の楽しそうな写真等が飾っており、季節感や生活感が感じられる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者様は各々ご自分の過ごしたい場所で休まれる。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	あまり配慮されていない。もっと、なじみの物やご家族との写真を置けたら良いと思う。	整理ダンス・ソファ・椅子・時計・雑誌・カレンダー等、利用者それぞれが使い慣れたものや好みのものを配して、個別性のある居室作りを工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	その利用者様に合ったものをお手伝いされている。洗濯たたみや食器の片付けなどを行ってもらっている。		